

(別紙4(2))

事業所名 グループホームやわらぎ

目標達成計画

作成日: 平成 29年 12月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己評価番号	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個々の職員の気づきが、より活発にケアに活かされていく仕組み作りが必要。	個々の職員の気づきを発信しやすく、迅速にケアに活かせるサイクルができる。	10分間程度のミニカンファレンスを日々の業務の中で行う。継続して実施するために、どのように行うか(時間帯、方法)を検討し、実践する。	12ヶ月
2	48	本人の能力を決めつけず、現在行っている活動以外の役割や楽しみ作りも行う。	一人ひとりの新たな役割や楽しみごとを見つけることで、生活が活性化する。	一人ひとりの生活歴や性格、現在の状況を踏まえ、新たな役割や楽しみにつながる活動の内容を検討し、すすめていく。	12ヶ月
3	54	本人の希望や家族の話を聞きながら、今後、更に本人が心地よく過ごせるような空間づくりを工夫していく必要がある。	利用者の過去・今・未来を見据え、本人や家族と相談しながら、本人が居心地よく過ごせる居室環境を整えていくことができる。	これまでの暮らし方や今の生活、これからに向けた希望を、本人や家族に聞きながら、本人が居心地よく過ごせる居室環境を整えていく。そのために居室担当者が、定期的な見直し等、積極的な働きかけを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。